



# Onodera Yuki

INTO THE LABYRINTH OF PHOTOGRAPHY

## オノデラユキ 写真の迷宮へ

主催=東京都 東京都写真美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会 特別協賛=キヤノン株式会社 協賛=ライオン / 清氷建設 / 大日本印刷  
 開館時間=10:00→18:00(木・金は20:00まで / 入館は閉館30分前まで) 休館日=毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

2010年7月27日(火)→9月26日(日) 東京都写真美術館

12 Speed-2008



オノデラユキ(1962年生まれ)はパリを拠点に、世界的な活動を続ける写真家です。独学で写真技術を身につけ、1991年第1回写真新世紀で優秀賞を受賞、写真家として頭角を現しました。イメージを重ねた幻視的な作品で「謎めていることは貴重である」と評価され、その作品の本質は1993年パリに拠点を移すことにより更に力強く磨かれていきました。そして創意溢れるシリーズを次々と発表、2003年、写真集「カメラキメラ」で第28回木村伊兵衛写真賞を受賞し、さらに2006年にはフランスにおける最も権威ある写真賞「ニエプス賞」を受賞しました。

オノデラの作品は、「写真」という一般的概念に収まりきれないところに、その魅力と特質があります。それは写真表現の可能性に果敢に挑戦してゆくオノデラの尽きない探求心に支えられています。ある時はカメラに細工を施し、ある時はコラージュによって、ある時は思わぬアングルから被写体をとらえ、コンピューターを駆使する一方、白黒写真に油絵の具で着色するなど、シャッターを押すまでに行われる仕掛けも、その後の凝った作業も、それはまさに造形作家の仕事です。それらをカメラという機械を通して1枚の画面に封じ込め、最終的に自らの手で大きく引き伸ばし、写真作品として完成させるのです。

オノデラの作品は、日常の風景を捉えながらも、私たちの固定観念を覆すような視覚世界を体験させてくれます。そして、独自のユーモアと都会的なセンスで巧みに観る者を惹きつけながら、私たちが写真の迷宮へと誘うでしょう。

本展ではオノデラユキの初期代表作に東京都写真美術館新収蔵作品「Transvest」、「12 speed」を加えた9シリーズ約60点で展覧いたします。

# Onodera Yuki

INTO THE LABYRINTH OF PHOTOGRAPHY

## オノデラユキ 写真の迷宮へ



関連事業  
 アーティストトーク(作家による作品解説) 7月30日(金)午後2時~  
 会場=2階展示室 参加方法=本展入場券(当日券)をお持ちの方はどなたでも参加できます。

オノデラユキ講演会 9月4日(土)午後2時~  
 会場=1階アトリエ 定員=70名 参加方法=当日10時より整理券を配布します。

学芸員によるフロアレクチャー 会期中第1、第3金曜日午後2時~  
 参加方法=本展入場券(当日券)をお持ちの方はどなたでも参加できます。

料金=一般700円(560円)、学生600円(480円)、  
 中・高生、65歳以上500円(400円) ( )は20名以上の団体料金  
 東京都写真美術館友の会会員 / 小学生以下 / 障害者手帳をお持ちの方と介護者 / 第3水曜日に観覧する65歳以上は無料

### 東京都写真美術館

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 〒153-0062  
 TEL: 03-3280-0099 URL: www.syabi.com  
 JR恵比寿駅東口より徒歩約7分 / 東京メトロ恵比寿駅より徒歩約10分  
 お車でご来場の際は近隣の駐車場をご利用ください。



「Transvest」\* 2002-  
 「古着のポートレート」\* 1994-1997 / 「オルフェウスの下方へ1-失踪者の後を追って-」 2006  
 「真珠の作り方」\* 2000-2001 / 「11番目の指」 2006-2010 / 「窓の外を見よ」 2000  
 \* は東京都写真美術館所蔵作品